

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 児童・生徒文化振興助成金
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称						
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち						
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む						
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援						
小分類	2	文化活動を担う人づくり						
主要な施策	1	文化活動との出会いの場づくり						
事務事業番号	001	事務事業コード	53121001	事業開始年度	平成 7 年度	事業終了年度	平成 - 年度	

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	児童・生徒文化振興助成金
------	------	------------	--------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 児童、生徒
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 児童、生徒が全国及び北海道大会に参加する場合、その経費の一部を助成する。 (1) 助成の範囲・・・大会開催要項等に定める登録範囲以内の出場者 (2) 助成金額・・・全国大会：団体出場 対象経費の 1 / 5、個人出場 対象経費の 1 / 4 ：バック旅行等の個人内訳が積算できない場合は 団体出場 総額×助成金対象者/大会参加者× 1 / 5 個人出場 総額×助成金対象者/大会参加者× 1 / 4 全道大会：1人3000円
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 児童・生徒の文化活動で全国及び北海道大会に出場するものに対し、その経費の一部を助成し、保護者の経費負担の軽減と児童・生徒の文化の向上を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市児童、生徒文化振興助成金交付要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	全国及び北海道大会への参加者数 (年度ベース)	人	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	58				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	353	500	500	500	500	1,500
合 計				353	500	500	500	500	1,500
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	529	554			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		529	554			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 出場者の負担を軽減するため、助成は必要と考えられる。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 昨年はインフルエンザの流行により、申請者が例年よりも少なかったが、児童・生徒が全国・全道大会に出場することで質の高い文化活動を学び、市の文化振興に大きく寄与する。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 児童・生徒が、全国・全道大会に出場することで文化活動に対する意欲の向上が図られ、更なる目標に取り組むことができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 文化の振興や保護者の経費負担を目的としていることから、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	学校における文化活動の取組みは活発化しており、全国・全道大会に出場する学校が増加している、学校では旅費の予算の確保に苦慮しており、補助金はこれらの大会に出場する旅費等を助成するものであり、学校での文化活動を支援するために必要である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）